

農業工学特別演習 (8 単位)

担当者氏名 豊田裕道・小梁川 雅・坂口栄一郎・竹内 康・中村好男・三原真智人・渡邊文雄・田島 淳・
島田沢彦・鈴木伸治・岡澤 宏・佐々木 豊・藤川智紀・中村貞彦・村松良樹

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

修士論文作成のために必要とされる、研究の背景と意義、研究目的、研究方法、研究結果と考察といった論理的思考能力の向上を学習の到達目標とする。また、中間発表会および最終発表会での発表を通じて、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力の向上を図ることを教育の到達目標とする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

地域資源利用工学 農村環境工学 広域環境情報学 地水環境工学
社会基盤工学 水利施設工学 バイオロボティクス 農産加工流通工学

◆授業の進行等について

テーマ	内 容	準備学習 (予習復習) 等の内容と分量
研究テーマの検討 (第1～第6 週)	研究テーマを検討する	関連参考文献を読む。予習として、各専修関連学協会での講演会へ要旨を提出し、口頭発表する。
研究目的・方法の検討 (第7～第12 週)	研究目的と方法を検討する	
研究結果の検討 (第13～第18 週)	研究結果と考察について検討する	
研究論文作成指導 (第19～第24 週)	論文としての体裁を検討する	
研究発表指導 (第25～第30 週)	プレゼンテーション方法を修得する	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

授業初めに担当教員から指示がある。

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

論文の内容 (70 点) とプレゼンテーションの内容 (30 点) をもとに評価する。

◆オフィスアワー

授業初めに担当教員から指示がある。

◆その他受講上の注意事項

指導教員の教育方針を十分に理解し率先して研究に臨み、研究成果を査読付きジャーナル等に投稿できるような目標を持つこと。